



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2024年3月期 決算説明会資料

2024年05月15日

日本シイエムケイ株式会社

1. 2024年3月期 連結業績
2. 2025年3月期 連結業績見通し
3. 車載成長戦略
4. その他
5. 補足資料

1. 2024年3月期 連結業績

① 連結業績サマリー

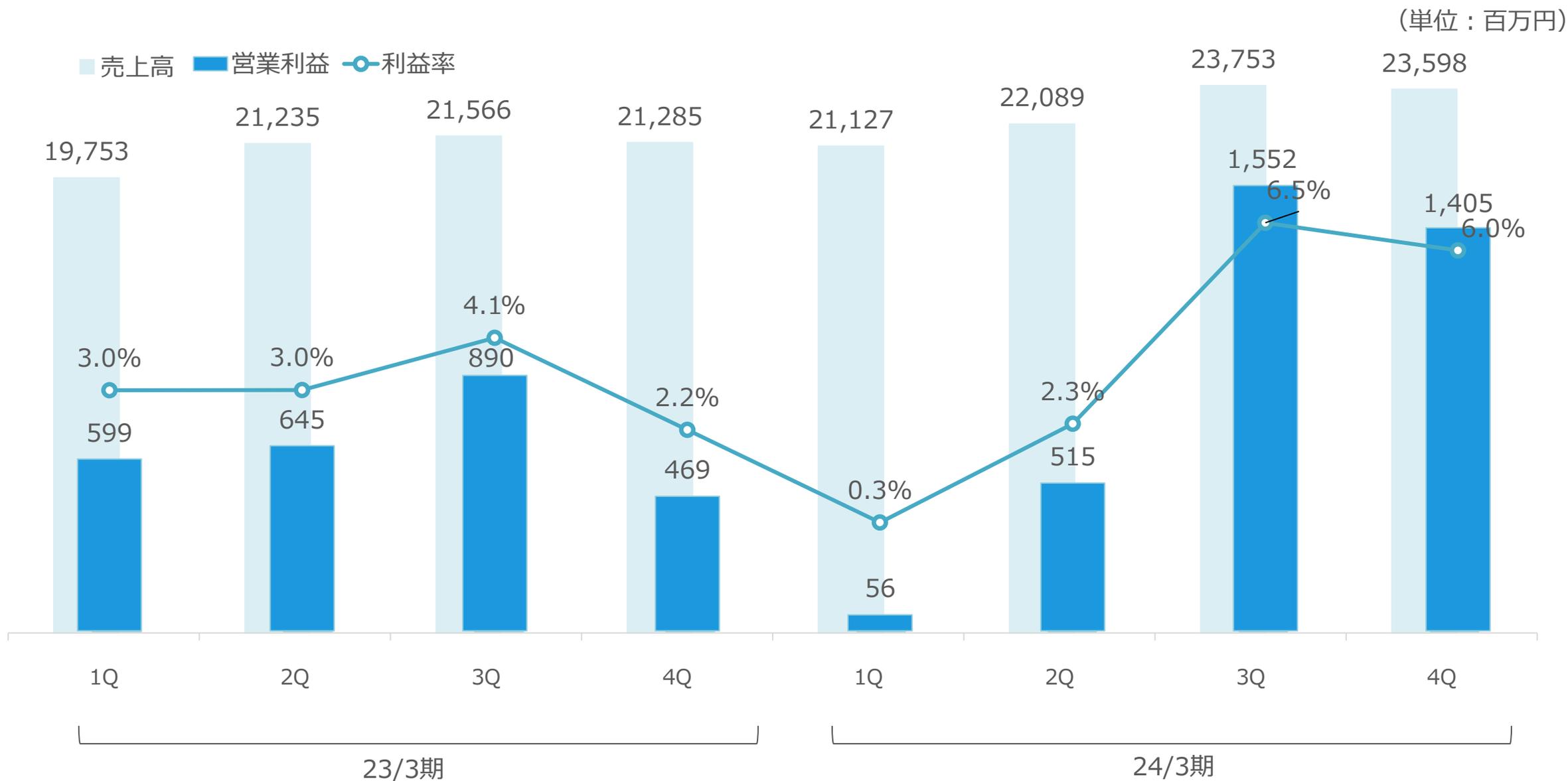
■ 決算のポイント

- ・売上高は注力分野のパワートレイン・走行安全系（前期比+31%）が牽引し、増収
- ・生産工場の稼働回復の影響などにより、営業利益は増益

(百万円)	23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	増減率
売上高	83,840	90,568	+6,727	+8%
営業利益	2,605	3,529	+923	+36%
率	3.1%	3.9%	+0.8%	-
経常利益	2,622	4,795	+2,172	+83%
当期純利益	1,588	3,855	+2,266	+143%
平均為替レート (USD/JPY)	132.09	141.20	+9.11	+7%

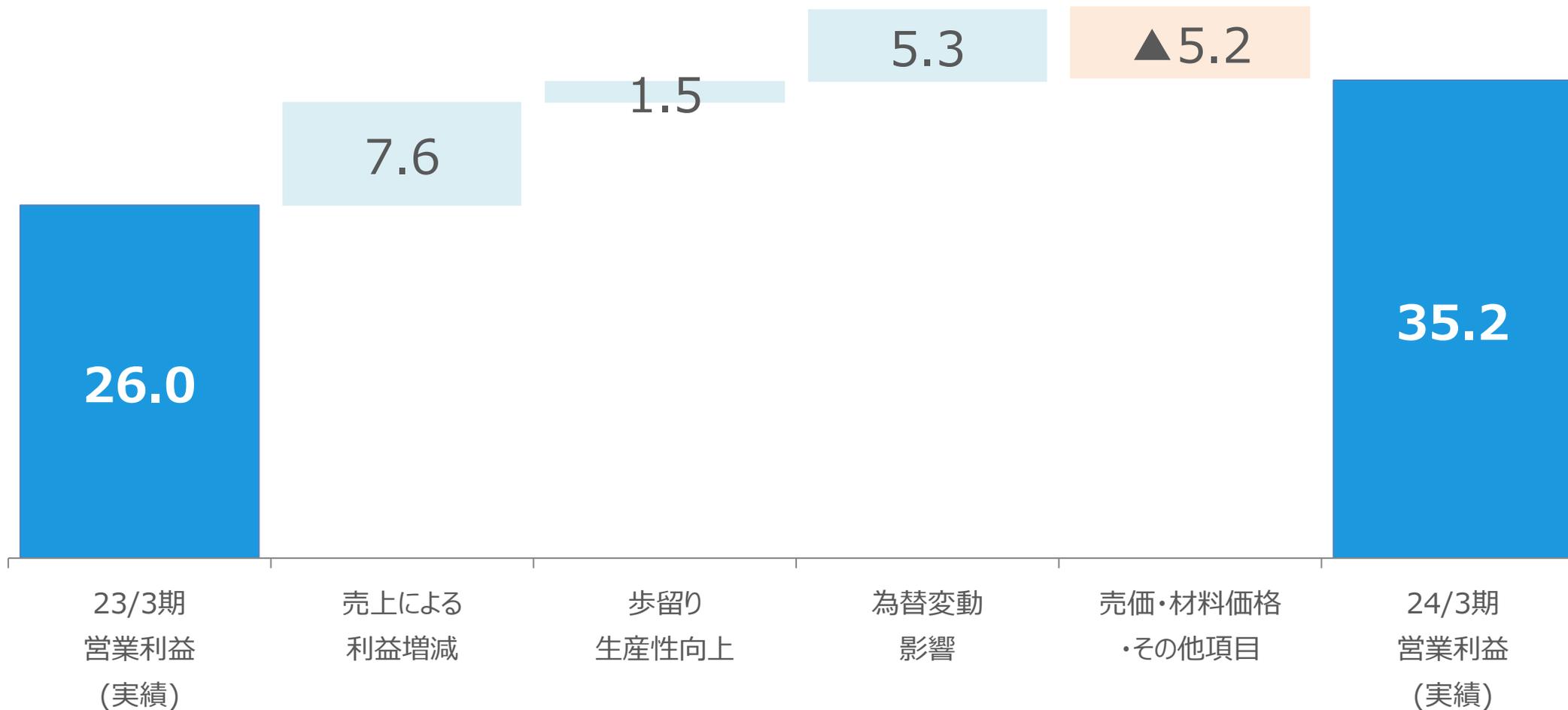
※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

② 四半期別売上高及び営業利益の推移



③ 営業利益増減分析

(単位：億円)



2. 2025年3月期 連結業績見通し

① 連結損益

(百万円)	24/3期 実績	25/3期 見通し	増減額	増減率	<参考> 25/3期 中計
売上高	90,568	94,000	+3,431	+4%	94,000
営業利益	3,529	5,000	+1,470	+42%	5,000
率	3.9%	5.3%	+1.4%	-	-
経常利益	4,795	4,200	-595	-12%	-
当期純利益	3,855	3,500	-355	-9%	-
配当金/1株	19.00	15.00			
配当性向	29.6	30.5			

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

※見通しの前提為替レート (USD/JPY) 145.00

②連結損益（上期・下期）

(百万円)	<参考>		25/3期 上期見通し	25/3期 下期見通し	<25/3期上下比>	
	24/3期 上期実績	24/3期 下期実績			増減額	増減率
売上高	43,216	47,352	45,000	49,000	+4,000	+9%
営業利益 率	571 1.3%	2,958 6.2%	1,500 3.3%	3,500 7.1%	+2,000 +3.8%	+133% -
経常利益	1,677	3,117	1,100	3,100	+2,000	+182%
当期純利益	759	3,096	750	2,750	+2,000	+267%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

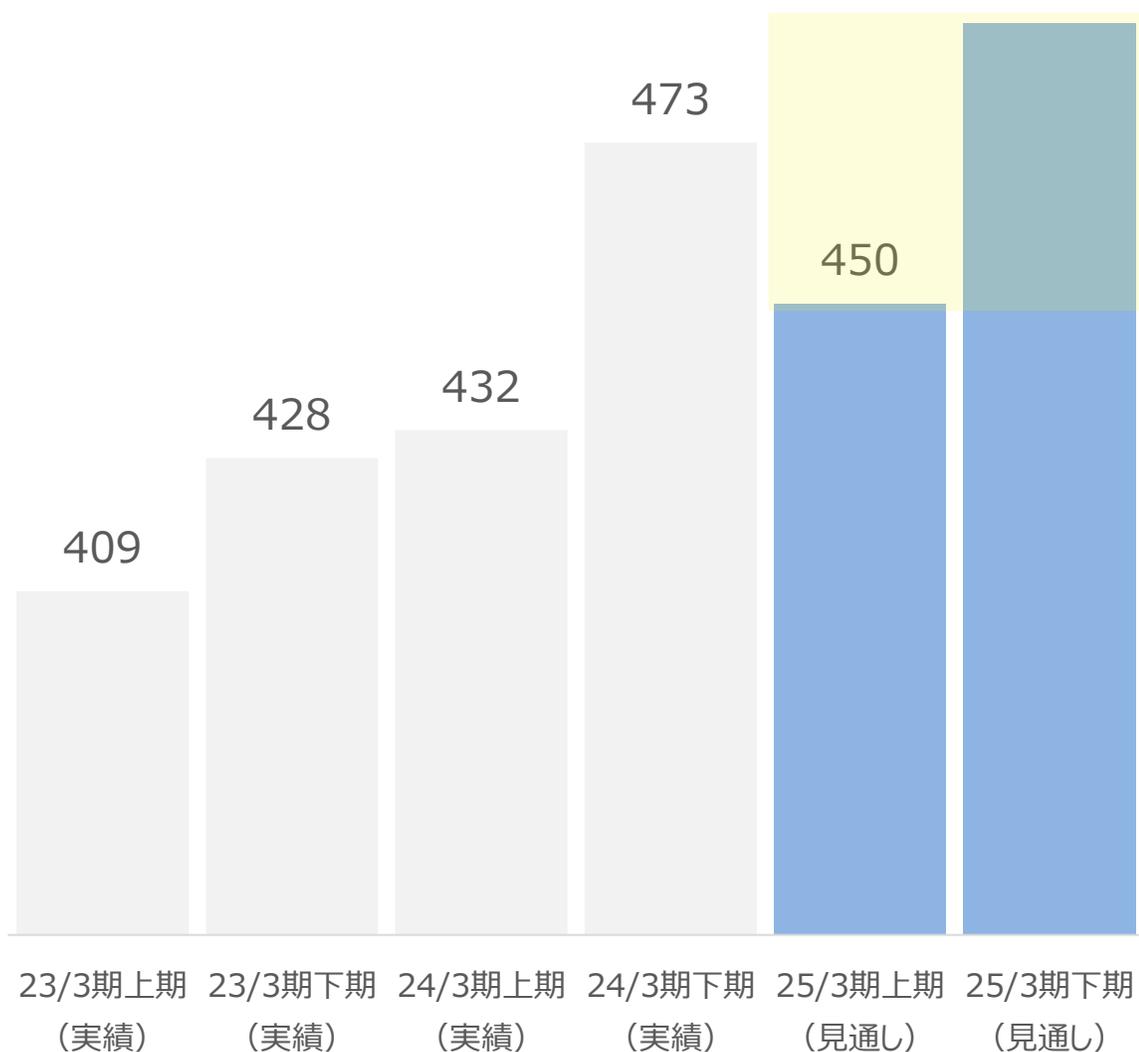
※見通しの前提為替レート (USD/JPY) 145.00

③受注動向イメージ

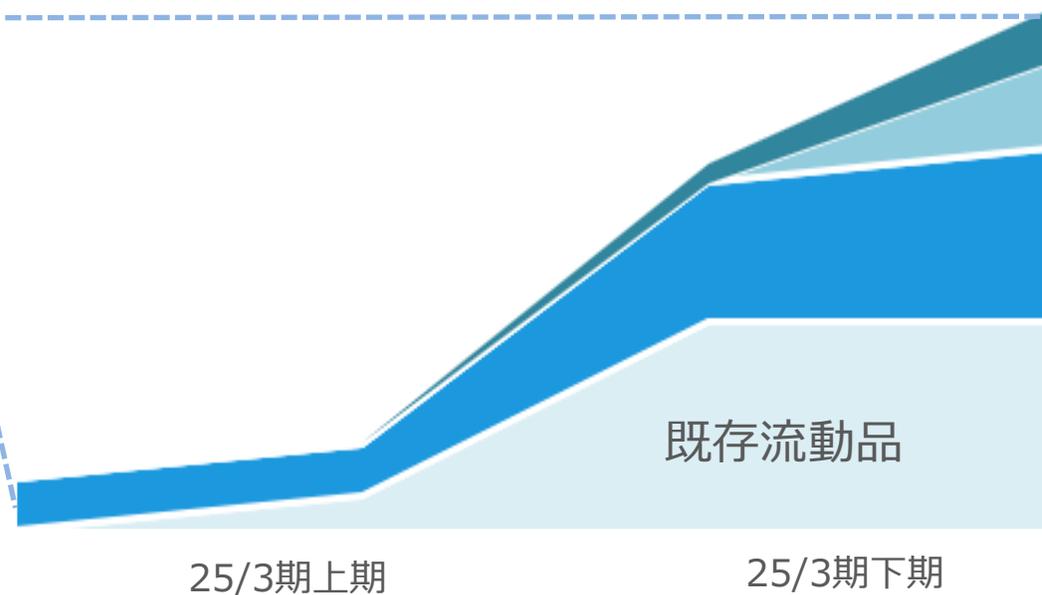
＜半期別売上高推移＞

(単位：億円)

490



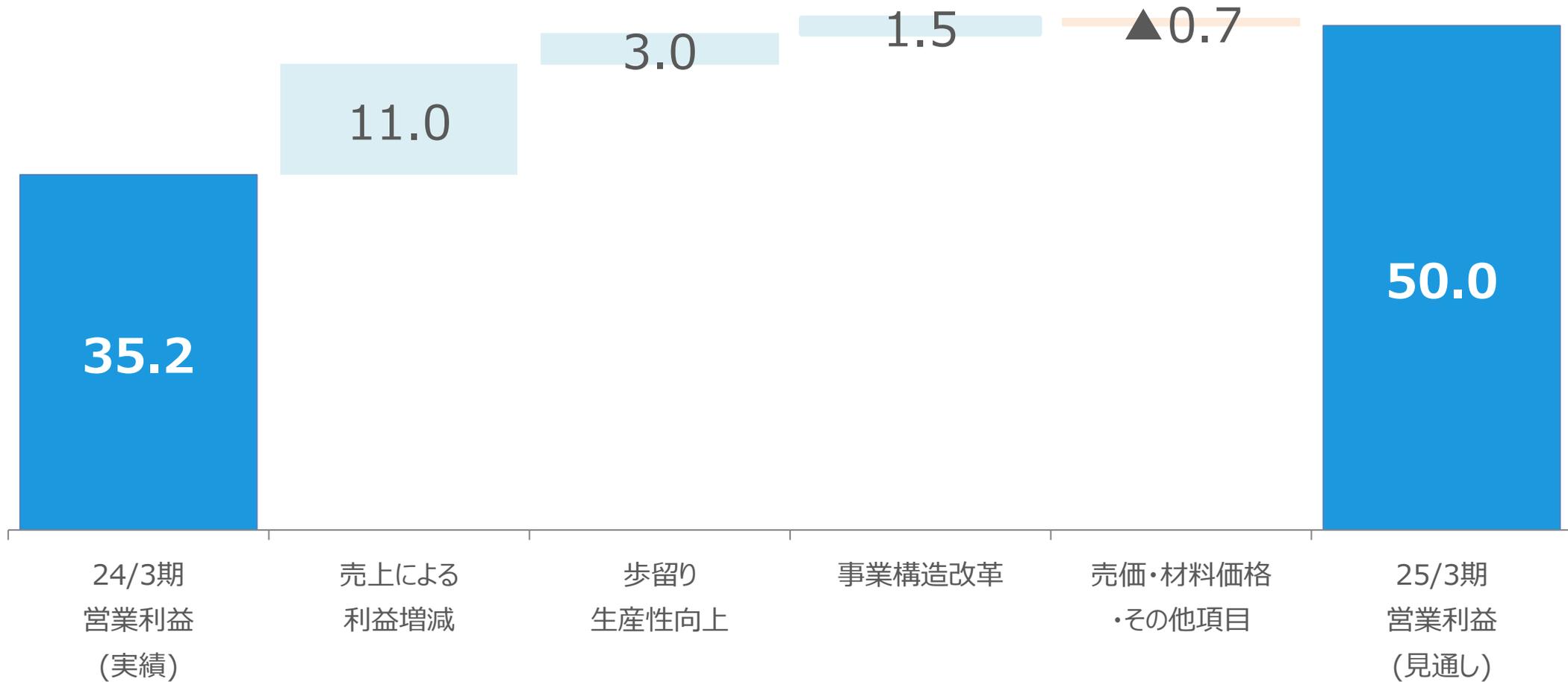
＜25/3月期上期・下期 受注動向イメージ＞



- 新規外資顧客
- 日系顧客向け新規アイテム
- 外資顧客向け新規アイテム

④ 営業利益増減分析

(単位：億円)



3. 車載成長戰略

①車載成長戦略



CASE需要取り込みによる売上成長



競争優位性のある車載製品ポートフォリオへのシフト



顧客ポートフォリオの多様化



高付加価値シフト

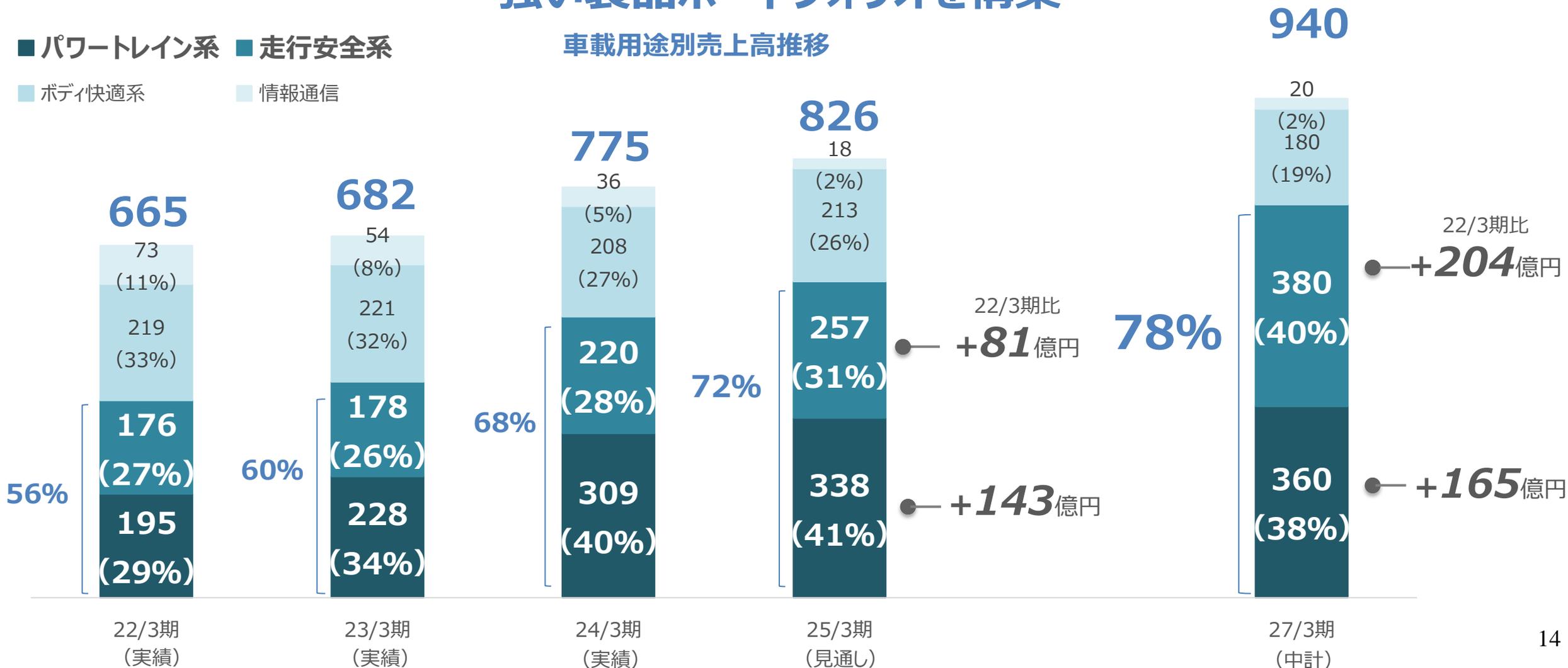
②車載成長戦略（車載製品ポートフォリオの推移）

競争優位性のある「パワートレイン・走行安全系」へシフトし、強い製品ポートフォリオを構築

■ パワートレイン系 ■ 走行安全系

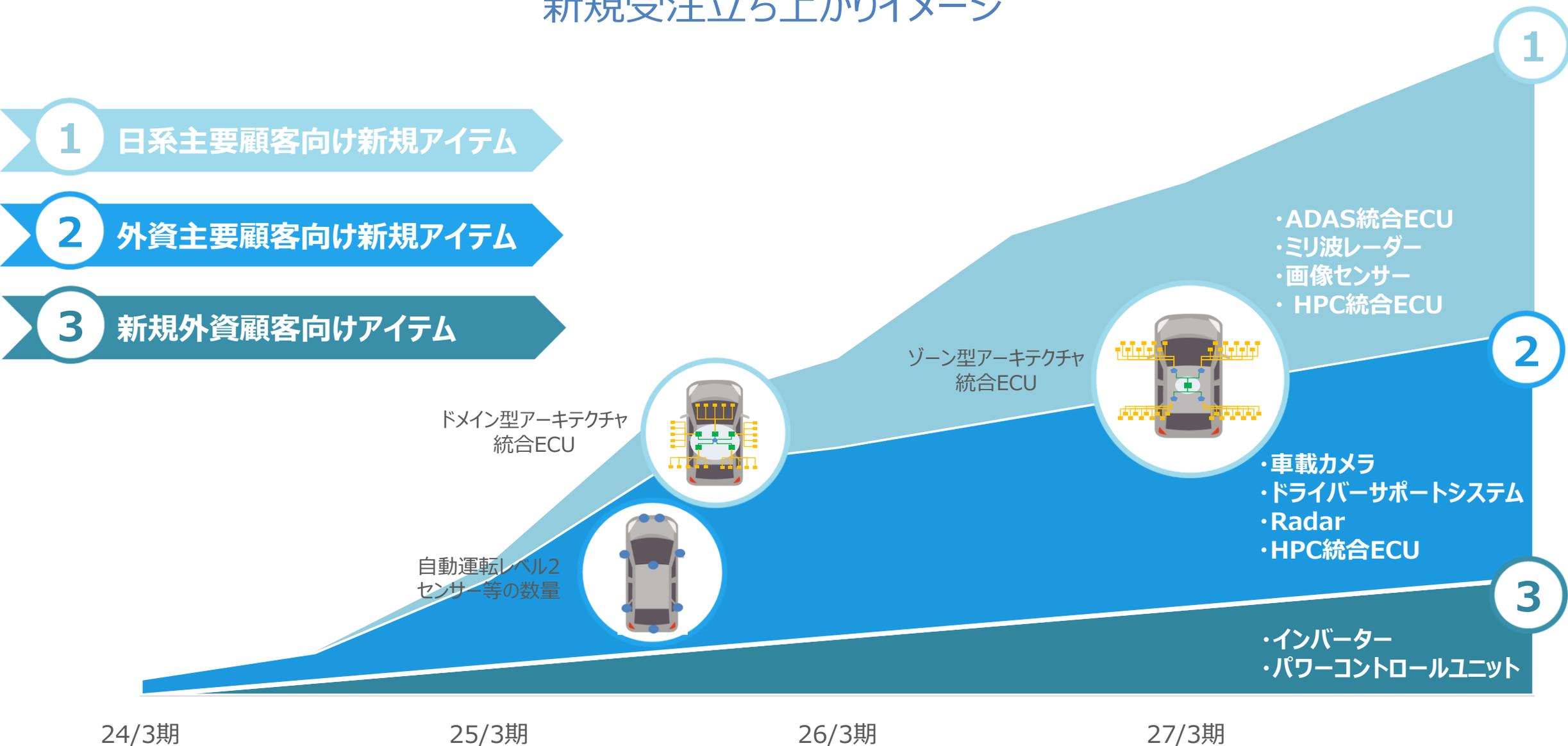
■ ボディ快適系 ■ 情報通信

車載用途別売上高推移



③車載成長戦略（ターゲットアイテム）

新規受注立ち上がりイメージ

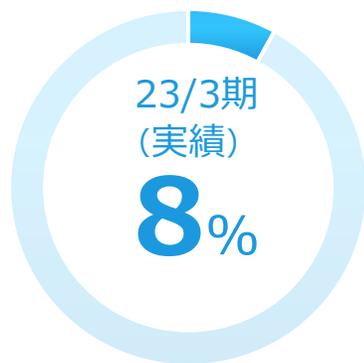


④車載成長戦略（顧客ポートフォリオの多様化・高付加価値シフト）

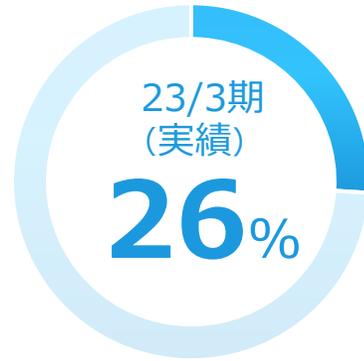


外資顧客とのビジネスも順調に拡大、高付加価値シフトも進む

外資顧客別売上高構成比推移



ビルドアップ売上高構成比推移



⑤車載成長戦略（外資顧客拡大に向けて）

グローバル戦略として、ドイツに事業所を設立
大手Tier1メーカーが本社を置くドイツを「外資系車載重要地区」としてターゲット



CMK(Germany) GmbH

Stuttgart, Germany



開発段階より
顧客ニーズ把握

×

先行開発品への
技術提案など実施

=

外資顧客への
ビジネスチャンス
拡大を狙う

⑥車載成長戦略（タイ新工場の進捗状況）



2024年8月より稼働開始予定



2024年5月9日時点

⑦更なる成長投資について

タイ新工場の第二期投資時期を見極め
 (新工場延床面積の約40%の設備投資余力あり)

タイ工場のキャパシティ	現状	新工場 第1期投資後	新工場 第2期投資
スケジュール	—	2024年	検討中
投資金額	—	約250億円	
生産能力/月産 (現状+新工場)	➡ 13万㎡	16万㎡	➡ 20万㎡
内 両面・多層	➡ 11.3万㎡	12.6万㎡	➡ 13.2万㎡
内 ビルドアップ ^o	➡ 1.7万㎡	3.4万㎡	➡ 6.8万㎡

4. その他

①公募増資実施

2024年2月16日公募増資を決議、2024年2月26日条件決定

募集株式数

12,000,000株

調達額

約66億円

＜公募増資の背景・目的・資金使途＞

旺盛な
CASE需要

×

地政学リスク回避の流れ
によるタイ工場への
顧客ニーズ

=

タイ新工場
建設中

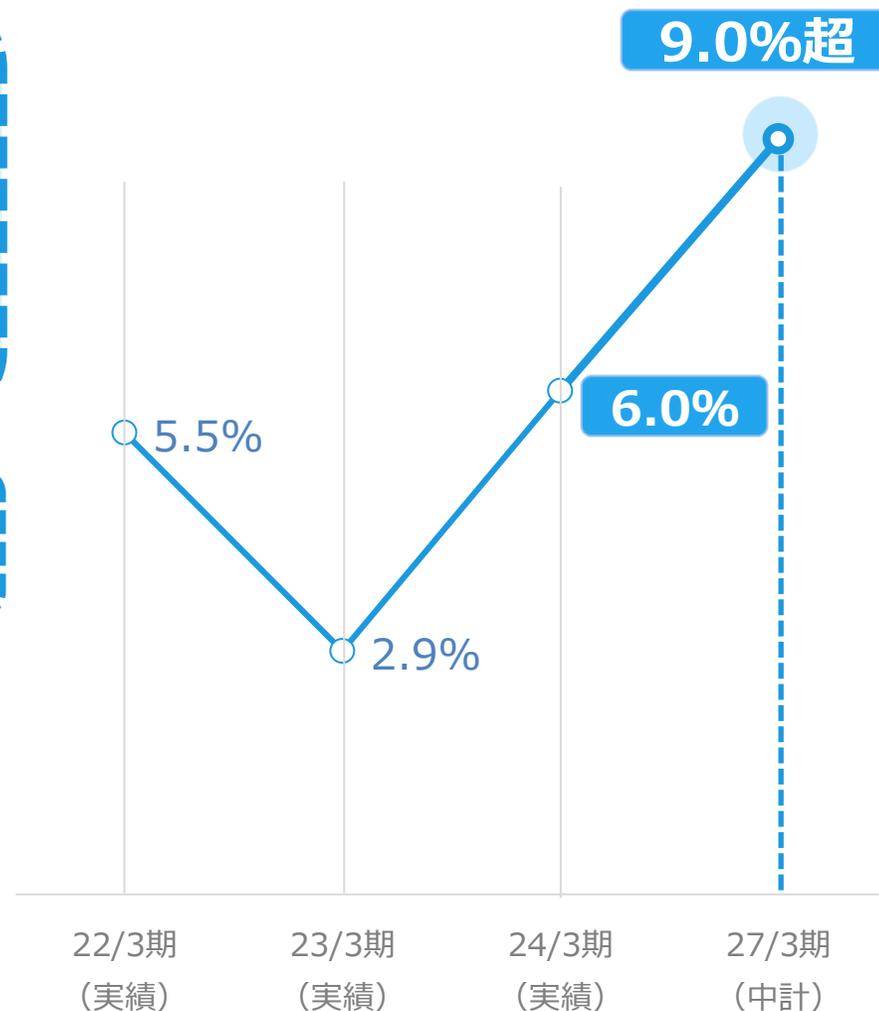
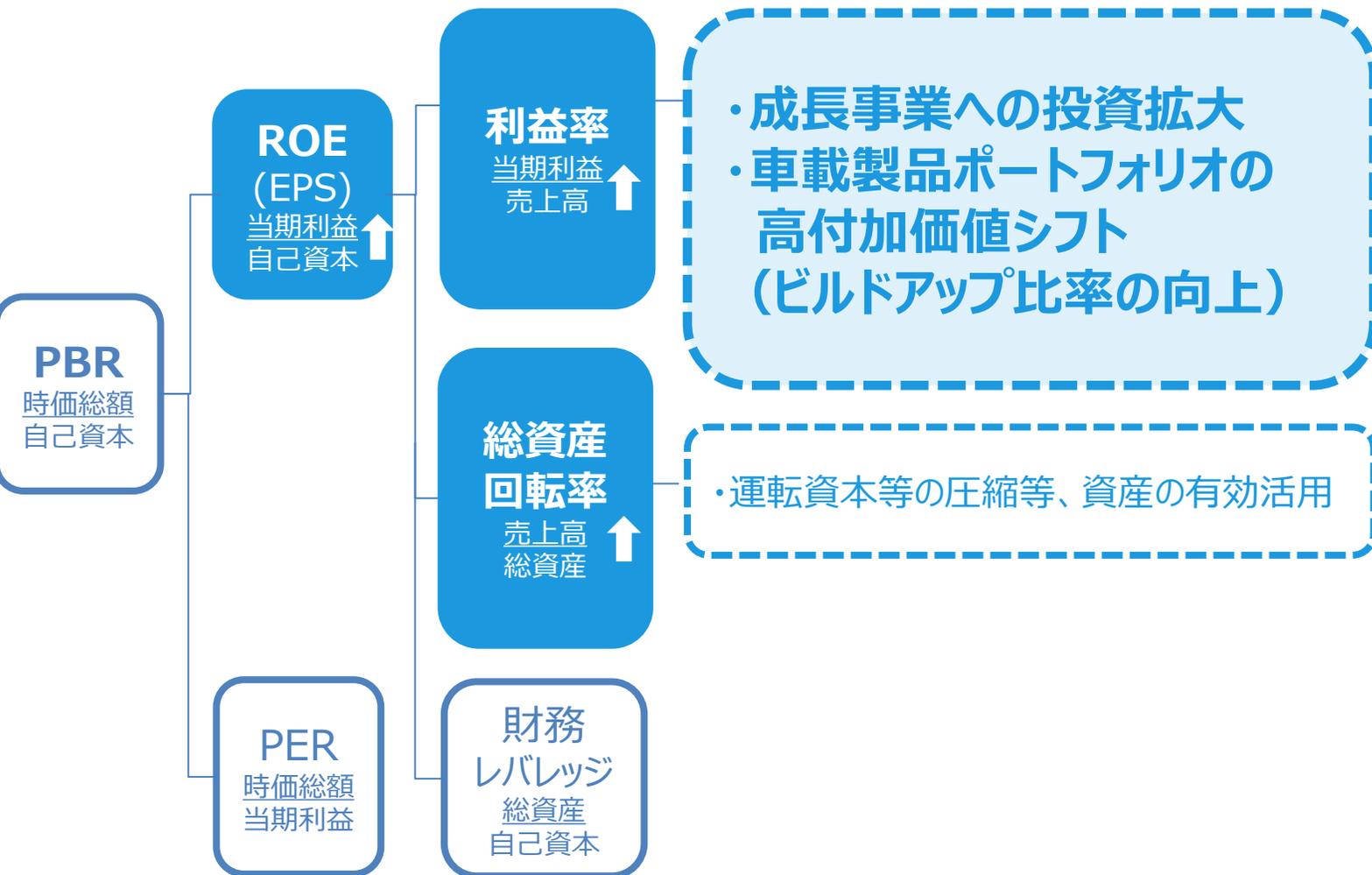
2024年8月稼働予定のタイ新工場資金に充当
本公募増資による財務基盤の強化

今回の資本増強で今後の更なる成長投資の準備が完了

②企業価値向上 (PBR向上に向けて)

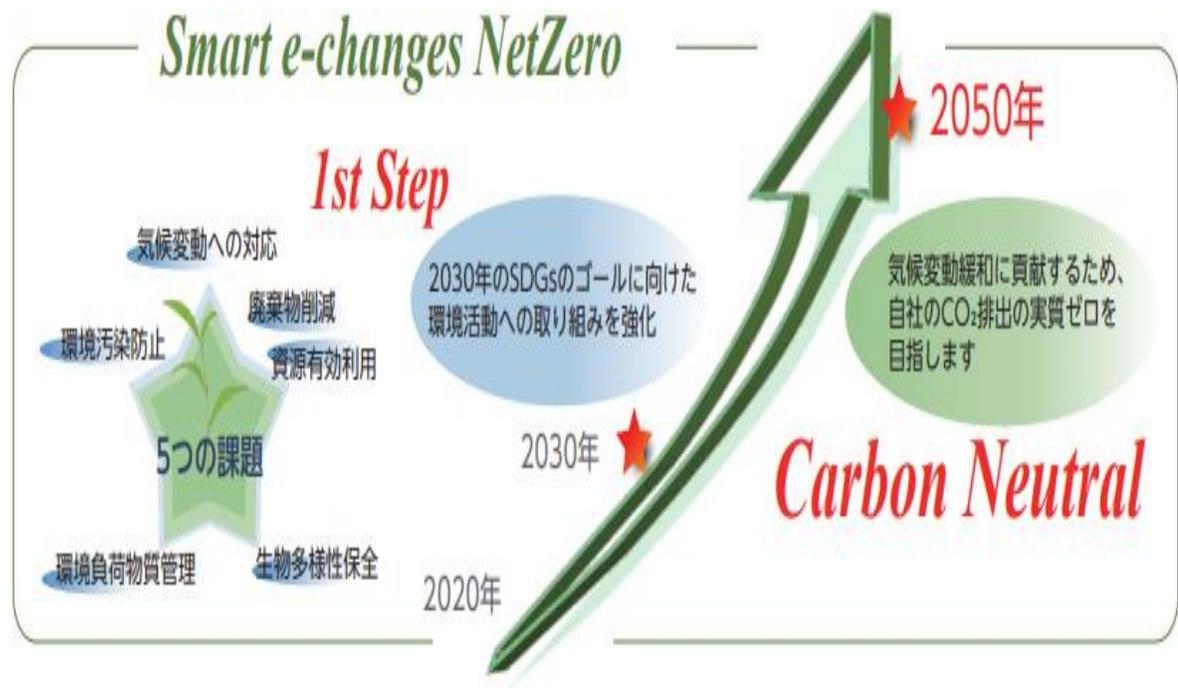
PBR向上に向けて

ROE推移



③サステナビリティへの取り組み

当社は気候変動問題に対して2022年7月に、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同し、**"Smart e-changes NetZero"** として2050年カーボンニュートラルを目指すとともに、気候変動の緩和に向けた取り組みを推進します。



CDP「気候変動レポート2023」にて「B」スコア獲得

企業の環境問題への取り組みを8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）にて評価
Bスコアとは「自社の環境リスクやその影響を認識し行動している」ことを示しています。



* 詳細は下記URLをご覧ください。

<https://www.cmk-corp.com/csr/doc/CMKReport2023.pdf>

* 参考：グローバル・電子部品業界平均「C」

5. 補足資料

①用途別売上高



(億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	増減率	25/3期 見通し	
車載	682	775	+92	+14%	826	
車載内訳	パワートレイン系	228	309	+81	+36%	338
	走行安全系	178	220	+42	+24%	257
	ボディ・快適系	221	208	-12	-6%	213
	情報通信系	54	36	-18	-33%	18
	通信	9	8	-1	-17%	12
その他	145	121	-23	-16%	102	
合計	838	905	+67	+8%	940	

※「その他」：AV・デジタル家電、デジタルカメラ、アミューズメント、その他

②基板種別売上高



(億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	増減率	25/3期 見通し
ビルドアップ配線板	205	260	+55	+27%	310
多層プリント配線板	476	498	+22	+5%	503
両面プリント配線板	100	100	-0	-0%	79
その他	55	45	-10	-18%	48
合計	838	905	+67	+8%	940

③地域別業績



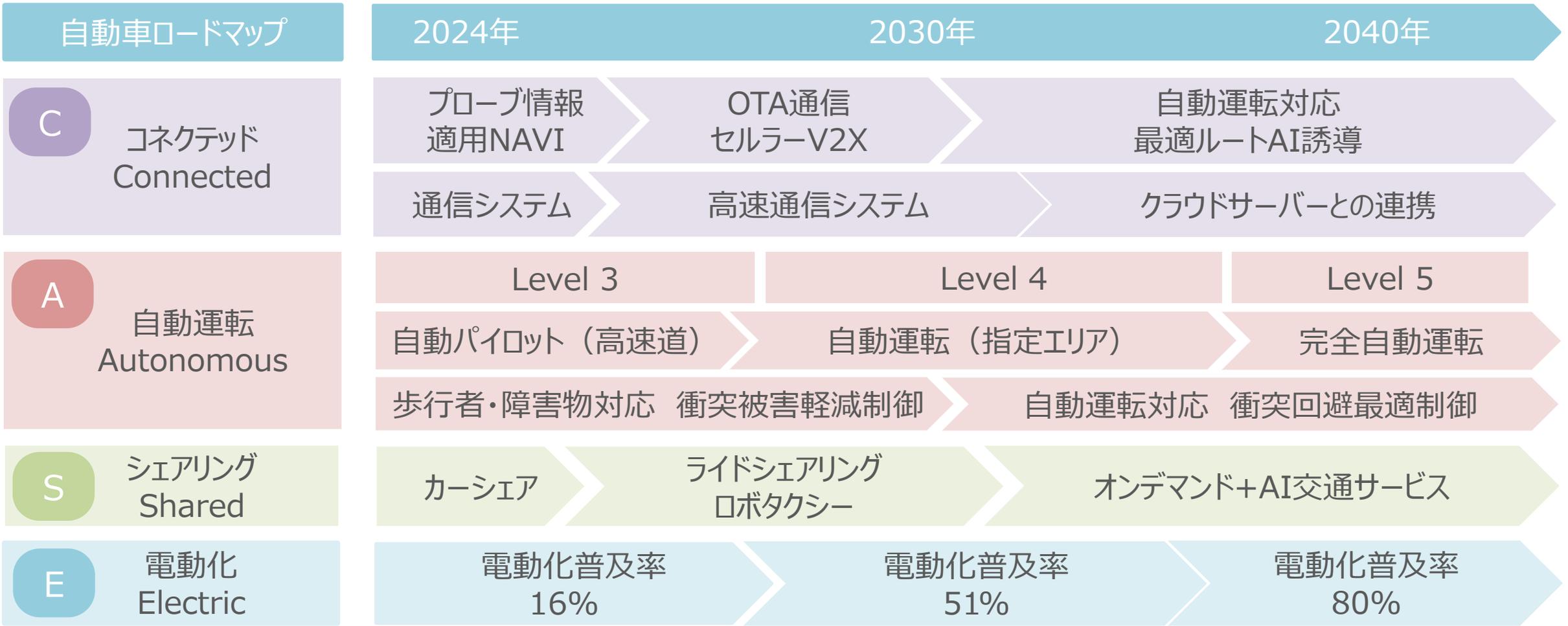
(億円)		23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	増減率	25/3期 見通し
日本	売上高	490	570	+79	+16%	602
	営業利益	5.0	15.9	+10.9	+219%	32.0
中国	売上高	326	342	+15	+5%	330
	営業利益	16.7	18.7	+2.0	+12%	11.0
東南アジア	売上高	284	301	+17	+6%	360
	営業利益	12.8	7.6	-5.1	-40%	16.0
欧米	売上高	40	44	+3	+9%	48
	営業利益	1.9	3.2	+1.3	+71%	2.0
消去又は全社	売上高	▲304	▲353	-49	-	▲400
	営業利益	▲10.4	▲10.3	+0.1	-	▲11.0
連結	売上高	838	905	+67	+8%	940
	営業利益	26.0	35.2	+9.2	+36%	50.0

④設備投資

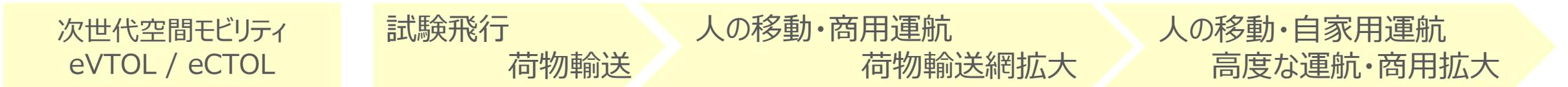


(億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	25/3期 見通し
国内	18	16	-2	27
海外	49	143	+94	168
連結	67	159	+92	195
減価償却費	47	52	+5	60

⑤-1. CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況



※公益社団法人自動車技術会「著自動車技術会 将来ビジョン～ 2050年チャレンジ ～」の「技術のロードマップ」を参考に当社にて作成



※経済産業省「空の移動革命に向けたロードマップ（改訂版）」を参考に当社にて作成

⑤-2.CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況



市場の要求	アイテム	基板への要求	当社の技術革新
<p>C  コネクテッド Connected</p>	<p>5G通信, V2X, V2H エン터테인먼트 IVI</p>	<p>低損失 SoCプロセッサ搭載</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、サブトラ微細回路</p>
<p>A  自動運転 Autonomous</p>	<p>ADAS system Auto Pilot ECU</p>	<p>アンテナ回路精度向上 Zone ECU</p>	<p>高精細回路形成 MSAP 多段HDI、高信頼性スタックVIA</p>
<p>S  シェアリング Shared</p>	<p>車載AI搭載 インフラ向けユニット</p>	<p>AIプロセッサ搭載 高多層、小径VIA</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、高アスペクト</p>
<p>E  電動化 Electric</p>	<p>統合ECU パワーモジュール</p>	<p>制御回路と電源の混在 大電流、高電圧、耐熱</p>	<p>異種導体厚回路、高放熱材 高耐熱レジスト、放熱シミュレーション</p>
<p> 次世代空間モビリティ eVTOL / eCTOL</p>	<p>高出力モーター 大容量電池、レーダー</p>	<p>超大電流回路 高電圧、センサ搭載</p>	<p>銅コア銅ベース、バスバー代替 異種導体厚回路、耐電圧保証</p>

⑥技術ロードマップ



当社の革新技术術

24/3期

25/3期

26/3期

27/3期

C



高密度

多段HDI BVHスタック

多段HDI AnyLayer

サブトラ微細回路

量産中

試作

量産

開発

試作

量産

A



高機能

高精細回路 MSAP

高板厚リジッドフレックス

量産中

試作

量産

S



高周波

低損失

特性インピーダンス制御

試作

量産

±10%(実測)

±10%(工程保証)

シミュレーション保証

E



高放熱

厚銅 + 信号回路

高熱伝導

開発

試作

量産

試作

量産



大電流
高耐圧

大電流回路

耐電圧保証

試作

FM試作

量産

検証

工程保証

本資料における将来情報は、2024年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END